

群馬総社 駅まちレター

いま、群馬総社駅が変わろうとしています。
どんな“駅まち”にしたいか、
みんなで考えるワークショップを実施しています。
この通信ではその様子をお届けします。

群馬総社駅まちワークショップ 第1回開催報告

群馬総社“駅まち”ワークショップとは

前橋市では令和12年の供用開始を目指し、JR群馬総社駅の西口開設（駅舎・東西自由通路の整備、西口駅前広場・西口アクセス道路の整備等）事業に取り組んでおります。

この事業を契機に群馬総社駅が将来に渡って、皆様に親しみを持っていただける駅となるよう、群馬総社駅周辺がどうなるとよいか、新しい“駅まち”でどのように過ごしたいかなど、皆様と一緒に群馬総社駅の未来について考えるワークショップを開催しています。

“群馬総社駅周辺” & “駅まちエリア”とは？

群馬総社駅周辺 = 群馬総社駅を中心とした徒歩圏エリア^{*1}

駅まちエリア = 群馬総社駅を中心としたエリア^{*2}

*1—群馬総社駅を中心に概ね半径1km *2—群馬総社駅を中心に概ね半径100~200m ※東西自由通路、東西駅前広場、隣接地域までを含む

第1回ワークショップ開催概要

日時：2024年1月28日（日）13:30~15:30

会場：総社市民サービスセンター 第1・2会議室

参加者：43名

第1部 駅まちトーク

総社で暮らす/活動する“ひと”を通じて、地域の“いま”を知り、
駅まちの新しい魅力を発見するためのトークイベントです。

第1回駅まちトークは、群馬総社駅から徒歩5分の場所に自家焙煎コーヒー豆店を構える、総社町出身のサムライコーヒー店主 高橋央樹さんと、過年度から総社地区の地域特性等について、調査・研究を行っている前橋工科大学の杉浦榮先生からお話をいただきました。

高橋 私は前橋市総社町（立石地区）で生まれ育ち、2015年に地元総社町でサムライコーヒーを開業しました。現在は、地域貢献になればという思いから地元小学校の職業体験を受け入れています。近隣の高崎アリーナの公園や駒形駅の木下商店にはカフェを中心としたコミュニティがあります。群馬総社駅も地元の方々が活躍できるような商業施設がある魅力的な整備を行ってほしいと思います。

サムライコーヒー
高橋央樹さん

話し手
No.01



前橋工科大学
杉浦榮さん

話し手
No.02

杉浦 | 前橋工科大学では、2021年から群馬総社駅周辺に関する調査を行ってきました。広域では医療/生活利便施設が充実している群馬総社ですが、徒歩圏ではアクセスしづらく、交通弱者の生活は困難です。まちを持続可能にするためにも、車に依存しない「駅を中心としたまちづくり」を進めていく必要があります。赤城山をはじめとした山々を望む景観や、古墳が歴史的な資源であるだけでなく公園のように日常を支えていることなどに総社らしさが現れています。調査からまとめた群馬総社駅周辺の強み・弱みを参考にして、どのような“駅まち”の未来を描いていくのか、皆さんと一緒に考えていきましょう。

第2部 駅まちディスカッション

どんな駅まちにしたいか、グループで意見交換を行い、駅まちの“みらい”について考えます

ワーク1：群馬総社駅周辺の将来像（ランドデザイン）を考えよう

過年度の調査結果を参考に、暮らしの中で自身が感じる群馬総社駅周辺の強み・弱みをグループで共有した上で、将来、群馬総社駅周辺がどのようなまちになるとよいか（駅周辺の将来像）各自で考え、グループで意見交換し、発表しました。

「みんながつながれるまち」「自然・歴史・文化を感じるまち」「車がなくても楽しいまち」などさまざまな意見がでました。今後のまちづくりのヒントが見えた議論となりました。

車がなくても
楽しいまち

自然・歴史・文化
を感じるまち

みんなが
つながれる
まち



1 過年度の調査結果を参考に、暮らしの中で自身が感じる駅周辺の強み・弱みを共有する



2 駅周辺の強み・弱みを踏まえながら、各自の駅周辺の将来像を書き出す



3 ②で出た将来像をカテゴリ分けし、グループごとに駅周辺の将来像をまとめる

●各グループで作成した「○○なまち」

ワーク2：新しい駅まちエリアの使い方を考えよう

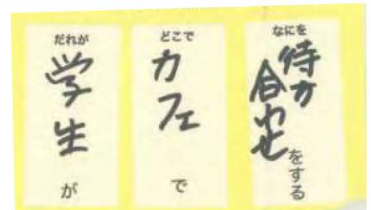
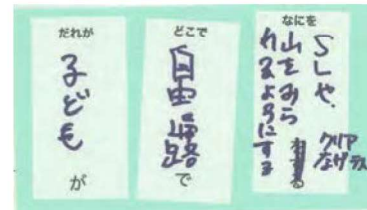
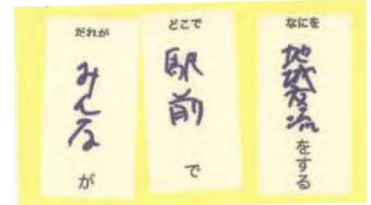
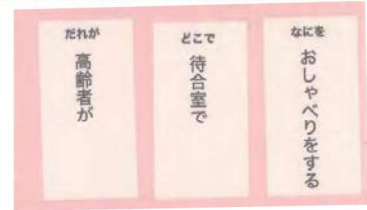
ワーク1でまとめた駅周辺の将来像を踏まえながら、各自で「だれが・どこで・なにをする」のワンシーン作成し、将来の駅まちエリアの「使い方」をイメージしました。次に、使い方のイメージから将来の駅まちエリアのキーワードをグループで創造し、発表しました。「自由通路からの眺め」や「駅前広場でのイベント開催・地域交流」、「自由通路や駅前広場での滞在空間の創出」など、将来の駅まちに対する具体的なイメージの共有が図れました。



1 将来の駅まちエリアにおいて「だれが・どこで・なにをする」のワンシーンカードを各自で作成する



2 各自で作成したワンシーンから、将来の駅まちエリアのキーワードをグループで創造し、まとめる



●「だれが・どこで・なにをする」を元に作成したワンシーン

駅まちディスカッションのスケジュール

第1回 | 2024年1月28日

テーマ

- 群馬総社駅周辺の将来像（ランドデザイン）を考える
- 将来の駅まちのワンシーンを考える

第2回 | 2024年3月2日

テーマ

- 駅まちエリアの「しつらえ」と「コンセプト」を考える(予定)

Coming Soon...